

idea

CONNECT × CONNECT

Twitter★http://twitter.com/#!/center_i

HP★<http://www.center-i.org>

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア

NEWS LETTER IDEA

February

2013

いちのせき市民活動センター情報誌「idea」は、
NPO・行政・企業の情報発信により、アイデアと
出会いの機会を創ります。

いちのせき市民活動センター

〒021-0881 岩手県一関市大町 4-29 なのはなプラザ4F

TEL 0191-26-6400 FAX 0191-26-6415

Email center-i@tempo.ocn.ne.jp

Vol.11

せんまやサテライト

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字町 149

TEL 0191-48-3735 FAX 0191-48-3736



志民のための成長戦略

広報ブラッシュアップ講座

～フォローアップ編～

—平成25年2月12日（火）—

講師の岩手日日新聞社

記者の菅原祥さん



去年の5月に開催した「広報ブラッシュアップ講座」に続き行った今回の講座は、前回の学びを活動の中で活かしているか、振り返りとフォローアップを目的に実施。

記事を書く時のコツ

前回の講座の振り返りとして、記事の文章を書く時に必要な3つのポイントを復習しました。

1つ目は「正しく」。文章に出てくる名前や地名、名称等に間違いがあつては、どんな

に内容が立派な記事でも欠陥記事になってしまいます。

2つ目は「わかりやすく」。読者の年齢層を意識し、読みやすい言葉使いを心掛けましょう。

3つ目は「速く」。情報が新鮮なうちに記事にし、できるだけ遅れないようにしましょう。

文章の展開は「結起承」で構成し、「結」にあたる「リード」と呼ばれる文頭部分には、記事の「いつ、どこで、誰が、何を」を全て書き記します。全文を読まなくても、リードだけでおおよその内容がわかるようにすることで、読者の目を引き付け、気持ちよく読んでもらうことができます。

また、写真を撮影する時は、3分の2に主の部分を入れ、3分の1に他の部分を配置することで奥行きが生まれ、自然な写真にすることができます。また、遠近、左右の多方向から写真を撮っておくことで、後で編集しやすい等のポイントを振り返りました。

自慢とダメ出し

さらに、去年の講座で学んだことを活動の中でどれだけ活かしているか、自分が執筆した記事が載ったチラシや冊子を持ち寄り「これだけ上手くなったよ！」と各自の成長を自慢し合いました。表題の付け方、写真の配置、言葉の使い方等、工夫した所を話し合い、講師の菅原さんも参加者の成長ぶりにニッコリと笑顔を浮かべます。話し合いの中で「こんな広報誌を出しているなんて知らなかった」と、参加者同士の情報交換にもなり、新たな繋がりが生まれたところもありました。

この他、菅原さんが今まで手掛けた岩手日日の新聞記事を参考にしながら、写真配置による特殊効果等のプロテクニクを学び、参加者からは「なるほどな」「さすがだな」と感心の声が多数聞こえていました。

講座の最後に行ったのは、

「この記事の〇〇が良くない」という意見を言い合う「ダメ出しタイム」。参加者と無関係の方々を作った記事やチラシを見て、直した方が良いと思う所を話し合い共有。今後の活動に役立てます。意見の中には、「写真が多く写っているのに、白黒で残念」「見出しの場所を変えた方が見やすい」「文字数が多すぎ」等のダメ出し意見が出て、時折笑い声が会場に響いていました。一方、「このレイアウト、真似したい」「この文字の書体が良い」等、褒める所も多数見つけました。

人によって広報の悩みや疑問は様々ですが、話し合うことによって「私も同じ」と共感し合う場面もあり、菅原さんと1対1で話し、解決できた方もいました。講座で学んだスキルを日常の活動で活かし、大いに役立ててほしいと思います。

- 2 | 志民のための成長戦略
| 広報ブラッシュアップ講座
- 4 | 地域コミュニティの活動紹介
| 藤沢地区 第5区自治会
- 5 | 企業の地域づくり
| 白い時計台の千田
- 6 | 団体紹介
| 里山自然学校 はずみの里
- 7 | 歩が行く-スタッフの体験レポート-
| 全国わんこもち大会
- 8 | 3月のイベント・ボランティア情報

一関市内の NPO 法人
市内 31 法人が活動中です。

- 1 藤沢町ボランティアセンター
 - 2 北上川流域河川生態系保全協会
 - 3 ケアセンターいこい
 - 4 須川の自然を考える会
 - 5 レスパイトハウス・ハンズ
 - 6 一関文化会議所
 - 7 一関ケアセンター
 - 8 ワークハウス雲
 - 9 里山自然学校 はずみの里
 - 10 全国地域学習振興会
 - 11 北上川サポート協会
 - 12 グリーンハート
 - 13 いわい地域支援センター
 - 14 アートで明るく生きるかわさき
 - 15 障害者への偏見と差別をなくす会
 - 16 サン.スマイル
 - 17 ねこの手クラブ
 - 18 いわてコミュニティファンド
 - 19 千厩まちかどケアセンター
 - 20 いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊
 - 21 いちのせき子育てネット
 - 22 響生
 - 23 わかば会
 - 24 防災サポートいちのせき
 - 25 とーばんふうどくらぶ
 - 26 生涯支援センター岩手 日向ぼっこ
 - 27 あゆみ
 - 28 子育て支援いっすね
 - 29 ファンスポルト一関
 - 30 北上川流域連携交流会
 - 31 グローバルヒューマン
- (認証順で掲載しています)

2月の表紙



「せんまやひな祭り」は2月10日から3月3日まで千厩酒のくら交流施設や千厩商店街で開催中！！施設内でのイベントや商店街でのスタンプラリーなどお楽しみも盛りだくさんです。

いちのせき市民活動センターニュースレターideaは、市民活動がアイデアを持ってNPOと行政や企業、市民との出会いの機会を創りだすことを目的とした情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

藤沢地区 第5区自治会

～積極的な住民参加による地域づくり～

自治会長
福地 満さん



写真：第5区自治会女性部の皆さん

また、東日本大震災以降の防災意識の高まりと地区内の高齢化が深刻なことを受け、自主防災活動の一環として行なった炊き出し訓練では、暖を取るためのストーブ、毛布、寝袋などの高齢者が気軽に使用できる

毎年お盆には、文教部と有志の方々に、河川の清掃と子どもたちに水に親しんでもらうことを目的として、川祭り、魚つかみ取り大会を開催しています。50名程の人が参加し、お盆帰省の方々にも喜ばれています。農家組合や地区内では、農家を守り立てるための視察旅行を計画し、県内外の道の駅などを視察しながら、住民同士の親睦を深めています。

藤沢第5区自治会は5部会で構成され、それぞれの部会だけでなく有志の方々が積極的に地域づくりに関わっています。

地域住民の協力による 地域づくり

今回は、78世帯222人が暮らす藤沢地区第5区自治会の新年会にお邪魔して、自治会長の福地満さんと地域で活発に活動する皆さんにお話を伺いました。

防寒用品を整え、防災に対する危機管理について再確認しました。高齢者の方にとって寝袋体験は初めてのことでしたが、「手軽で温かい」と喜ばれ、「新しいものへ触れたこと」で交流の大切さも感じ取られた日になったと思う」と福地自治会長は話します。この他、地区内の道路のゴミ拾いや草刈りなどの清掃活動も、地区の方々が草刈り機や、軽トラック等を無償提供し、協力し合いながら取り組んでいます。

有志の方々の活動が活発な藤沢第5区自治会ですが、中でも女性部の皆さんは、とても積極的な参加で地域を盛り上げています。敬老会などでの行事の際は即興で踊りなどを披露し、地域のお年寄りから喜ばれています。農業祭「JAまつり」では女性部が中心となり、農家組合の男性陣と協力して毎年参加し、平成16年から毎年「優秀賞」など数々の賞を受賞しています。昨年10月に藤沢文化センター「縄文ホール」で開催された、いちのせき元気な地域づくり事業「第1回ではってみっぺす・

女性部の活躍

みでみっぺす素人演芸会」では、ユニークな衣装を着たダンスが評価され、「最優秀賞」と「ユニーク賞」をダブルで受賞しました。お話を伺った女性部の方々は「今年も是非出場したい。構想はすでに考えています。」と今から楽しみにしている様子が伝わりました。また、今後の活動については「若い人にも参加してもらいたい、とにかく楽しく、和気あいあいと活動していきたい」と話していました。

安心安全に住める 地域づくりのために

「安心安全に住める地域作りをしていきたい。」と語る福地自治会長。

「そのためには隣近所で声を掛けあえる仲間意識を大事にしたい。地域の総会や、行事を若いうちから知ってもらい、参加してもらいたい。」優しく地域の人達を見守る福地自治会長の瞳からは、地域を思う気持ちが伝わりました。

最後に、突然の取材にも関わらず、温かく迎えてくださった福地自治会長をはじめとする藤沢第5区の皆さん、どうもありがとうございました。

地域

コミュニティの 活動紹介

～迫力ある龍の踊りで、市民とまちを元気に～

企業の 地域づくり

有限会社

白い時計台の千田
店主 千田 隆 さん

住所：一関市大町3-1



みなさんは、一ノ関駅内に飾られている「大龍神」をご存じでしょうか？光沢ある鱗を体中に纏い、背中には赤く炎のように逆立った鬘。金色の体毛で覆われた顔面には、大きく見開いた瞳と尖った牙がずらりと並び、力強さと神々しさを感じさせます。この龍は毎年大町で開かれる夏祭りでは迫力ある舞を披露し、見る人の目を楽しませ、長年に亘り地域を盛り上げてきました。今回の記事では、その踊りに想いを懸ける「白い時計台の千田」の千田店主さん取材し、お話を伺いました。

歴代の大町商店街の 店主が集う「一関銀座会」

慶弔10年（1604）頃、一ノ関駅前の商店街に「大町」の地名がついてから、一関の商業政策を先取り栄え続けてきた大町商店街。しかし、戦後の変遷期に、カサリン・アイオン両台風の襲来や相次ぐ大水害により、壊滅的な被害を受け、ここで崩壊した商業基盤の確立・安定のため、「行政区と共に地域振興を推し進め、中心商店街を復活させよう！」と大町の店主が結集して会を設立。これまでの「大町分科会」を昭和27年に改称し「大町銀座会」と名づけました。

商売繁盛を祈願した 初代「銀峰山大龍神」

大町銀座会は、商店街を復興し人を呼び戻そうと、目玉となる龍の踊りを発案。手作りした龍は「銀峰山大龍神」と命名し、昭和33年に初めて披露した踊りは大好評を得て、祭りのメイン行事となりました。

それから年月を経た現在、会の会長を務め30年目になる千田さんは、「やるなら本格的な龍で踊りたい」と、銀座会会長に相談し、商店街周辺の企業から集めた寄付金で、長崎県の伝統祭りである「長崎くんち」で使われる龍と同じものを製作依頼。半年後に受け取った龍は、大きい龍が全長21mで担ぎ手は11名。小さい龍は小学生が力を合わせて担ぎ、現在若者の担ぎ手（男女問わず）を募集しております。

他、爆竹やドラを鳴らす人等を含め、当日に必要な人数は30〜50名ほど。銀座会のメンバーを始め、商店街の企業の若手社員に参加を募り、初代から受け継がれる踊りを2カ月かけて猛特訓。本番は、真夏の太陽が照りつける中、大町山目地域をぐるりと一周し、ローテーションで30回以上も繰り返し踊ります。非常に体力が必要な活

動ですが、観客から大きな拍手を貰った時は嬉しかったと笑顔を見せてくれました。

市民皆が楽しめる 夏祭りであるために

一方、さまざまな問題も抱えています。長期に亘り行っている銀峰山大龍神でも、一関に住み続けている市民から「初めて知った」と言われることもあるそう。また、観客や大龍神を行うための人手が足りない、祭りを継続させるための資金がかかる等、「活動を続けたいが、やっている人はすごく大変です。」と千田さん。「夏祭りは市民総参加の行事ですが、昔と比べると参加者は減少しています。まちを盛り上げ活気づけるために、地域の方々の協力が少しでも欲しい。そのために私達は毎年銀峰山大龍神を行い、それを見る子どもが『自分が大人になったら龍を担ぎたい！』と言ってもらえるように、これからも活動を続けていきたいと思えます。」と明るく笑顔で話してくれました。

商店街と共に一関の歴史を刻んできた銀峰山大龍神。一関市の商店街のために、これからも年に一度の夏祭りをさらに熱くし、迫力ある踊りで見る人の心を楽しませ続けます。

特定非営利活動法人

里山自然学校はずみの里

団体 紹介

～基本情報～

理事長…千葉 裕さん

◆事務所

〒029-3103 岩手県一関市花泉町老松字藤田 231-8

TEL & FAX : 0191-82-3857

E-mail : hazumi@wine.ocn.ne.jp



千葉 裕さん

地域の豊かな自然環境の中で、 子ども達が健やかに育つための支援を。

“地域と共に”を根底に

里山自然学校はずみの里は、平成11年1月に任意団体里山自然観察会として発足。その後、平成15年8月に法人の認証を受け、翌月「特定非営利活動法人里山自然学校はずみの里」を設立しました。同団体は会員22名で組織され、里山の自然環境や文化遺産を調査研究及び保護をし、また自然体験を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に活動を続けています。

自然と触れ合い学ぶ「はずみっ子クラブ」

活動の内容は大きく分けて5つあり、その中の一つである「はずみっ子クラブ」では、

花泉町内の小学生児童を対象に、自然と触れ合いながら楽しく自然環境を学ぶ行事を開催。ホタルの観察会、草木染体験、川遊び等の野外活動を年に3～5回ほど行います。

1月に、祭時の健康の森で行った「雪山ハイキング」では、小学生の児童12名が参加。初めてかんじきを履き雪の上を歩いた児童は、活動時間内だけでは遊び足りないほど、ハイキングを楽しんでいたといえます。次回は、6月29日に「田んぼの学校」を予定しており、水田周辺の生き物や植物等について学びます。

この他、「動植物環境調査」では、岩手県の希少種を始め一般的に見られる種類まで幅広く調査し、データ採集から環境の変化を記録。また、環境省が実施する「重要生態系監視地域モニタリング推進事業」では、水環境や動植物の個体数の変化等も調査。この活動には、職員以外に多数の地域の方々が参加・協力してくれています。このような

例は全国でも1～2ヶ所しかなく、「地域の方々に心強く支援していただけていることは、全国に誇れる素晴らしい事例です」と千葉さんは話します。

設立10周年を迎え 活動を振り返る

昨年は法人設立10周年を迎えた節目に「十周年記念誌」を発行。法人設立から今までの活動の経緯が記されており、事業ごとの利用者の活動写真や感想文を読むと、行事を通じて多くの良い思い出が生まれていることを感じました。

千葉さんは、「このような青少年の健全育成事業の運営は、地域の方々の力を借りながら、地域の方々と共に、地域の子どもたちを育む事業を継続することが大切です。これから地域のために活動を続けていきたい。」と地域への感謝と、今後の活動への意欲を話してくれました。

歩が行く

センタースタッフ
千葉歩の体験レポートです

まだまだ、寒い日が続きますね。早く春の暖かい季節が来ないかと願いつつ、今月も潜入取材をして参りました。

今回私が潜入したのは、2月3日「なのはなプラザ4階」を会場に開催された「第6回全国わんこもち大会」です。同大会は、岩手名物の「わんこそば」と一関地方の郷土食「餅」を組み合わせたイベントで、当日は団体戦17組34名、男性個人戦8名、女性個人戦7名、合計49名が5分間に何個の餅を食べられるかを競い合いました。サポーターによる応援団も非常にユニークで、見るのも参加するのも楽しめるイベントでした。（選手の中には、ミッキー●ウスもいたような…いなかったような…目の錯覚だったかもしれません…）



★イベントを盛り上げるゲストMC「ふじボン」や一関市・登米市の両市長。応援サポーターの皆さんと奮闘する選手のみなさん★

未来塾から全国へ発信

同大会の主催者である「未来塾」は、地域の課題解決のために企業・行政・NPOそれぞれが対等なパートナーとして一緒に取り組むことの意味を考え、市民自らの手でできる新しい「まちづくり」の方法を議論し提言・実践し、今後の一関市の発展に寄与することを目的として活動しています。「全国わんこもち大会」は、平成19年度に企画・立案されたイベントで、今年で6回目を迎えました。

実行委員長の山平さんには、「なのはなプラザは初めて使う会場だったため、不安も多くなりましたが、無事に終わり本当に良かったです。来年は、観客が二千人以上も集まる花巻のわんこそばのくらい大きな祭りにし、一関の餅文化を市外に広くアピールし、地域を盛り上げていきたいです。」と今回のイベントに関しての感想と今後への意欲を語っていただきました。

ミニもちサミットを満喫

平成24年10月に開催し、大盛況を収めた「中東北ご当地もちサミット」の中から、川崎の「川崎炒め納豆もち」、東山の「げいび三色餅」、平泉

町の「平泉もちカステラ」、栗原市の「平泉もちぷりん」がテナント出店し、【ミニもちサミットinわんこもち大会】を同時開催し、会場を盛り上げました。



色々な味が楽しめる『げいび三色餅』



新色感が驚きの『平泉もちぷりん』



納豆餅の豪華版！！『川崎炒め納豆もち』



地元産もち米 100%使用『平泉もちカステラ』

♪★どれもこれも美味しい餅料理。定番の三色餅や手法を凝らしたもちカステラなど満喫しました♪



イベント・ボランティア情報



いちのせき市民活動センターでは、一関市内で活動する市民活動団体や企業で行うイベントの情報やボランティア募集の情報をお待ちしております。
TEL0191-26-6400 FAX0191-26-6415 ✉center-i@tempo.ocn.ne.jp



ひな飾りとつるし雛展

せんまやひな祭り実行委員会では、桃の節句を大正ロマン漂う千厩酒のくら交流施設や千厩商店街ではんまり楽しむ『ひな飾りとつるし雛展』を開催します。開催期間中、商店街でのスタンプラリーや施設でのイベントも開催されます。

日時：平成 25 年 2 月 10 日～3 月 3 日
時間：10 時～16 時
料金：高校生以上 100 円
(ひな祭り開場以外の施設見学は無料)
問合せ：千厩酒のくら交流施設
電話：0191-53-2070



第 6 回 音楽交流会

音楽交流会実行委員会では、一関地区福祉施設利用者や障がい者等のクラブやサークルに参加しているなかま同志で音楽交流をします。

ハートフルショップの販売も行いますので、ぜひ、ご来場ください！

日時：平成 25 年 3 月 2 日 (土)
10 時～12 時 30 分
場所：川崎生涯学習ステーション
(川崎公民館) ホールにて
料金：無料
電話：0191-26-5027
担当：一関総合福祉センター



一関民俗芸能発表会

一関文化祭実行委員会では、一関文化センターを会場に、第 28 回一関民俗芸能発表会を開催します。

各地域伝統の神楽など 11 の演目が披露されます。

日時：平成 25 年 3 月 3 日 (日)
開場 9 時/開演 9 時半
場所：一関文化センター 大ホール
入場料：前売り 800 円
当日 1,000 円
問合せ：一関民族芸能団体協議会事務局
電話：0191-21-2555
担当：阿部



友達探し大作戦！

新しい人とのつながりをつくる異業種交流会をはじめます。はじめまして企画の第 1 回のゲスト、漁師のおつまみ研究所で活躍中の浜のお母さんたちと料理を作りながら、楽しく、語りましょう。

日時：平成 25 年 3 月 9 日 (土)
14 時～17 時
場所：ペリーノホテル一関
定員：男性 30 名/女性 20 名
参加費：男性 2,000 円/女性 1,000 円
※アルコールの提供はありません。
申込方法：mail または FAX で。
e-mail：oikawa.srp.funsport@gmail.com
FAX：0191-26-6415



パッチワークまつりィン奥玉

奥玉公民館では、主に一関市内の公民館で活動するパッチワークやキルトサークルが参加して、それぞれの作品を一堂に会し展示することで、技術レベルの向上をめざし、かつ、活動の情報交換会の場とするほか、多くの市民の皆さんに活動を紹介する機会と考え、パッチワークまつりを開催します。

日時：平成 25 年 3 月 16 日(土)～17 日(日)
場所：維新館 奥玉公民館
内容：斉藤謠子さん特別作品展、市内等グループ作品展、特別レッスン他
入場協力金：300 円
問い合わせ：0191-56-2950



春よ、来い♪春恋 2013

ミニゲームとティータイムを楽しみながら“とことん”おしゃべりしませんか？参加ご希望の方は 3 月 8 日(金)までに館ヶ森アーク牧場へ電話・FAX・牧場 HP のお問い合わせフォームよりお申し込みください。

日時：平成 25 年 3 月 17 日 (日)
10 時～15 時
場所：館ヶ森アーク牧場ハーブ館
定員：男性 30 名/女性 30 名
参加条件：20～45 歳までの独身者
参加費：男性 4,000 円/女性 1,000 円
(イベント料・昼食・ティーセット代含み)
持ち物：筆記用具・携帯電話
問い合わせ：館ヶ森アーク牧場
電話：0191-63-5100 FAX：0191-63-5101
(担当：及川・小松)



そうだったのか副作用！

～抗がん剤編～

がん患者・家族サロンころばでは、磐井病院 がん薬物療法 認定薬剤師の村上 正美さんを講師に迎えよろず講演会を開催します。

午後 3 時～4 時は『よろず相談&お茶会』もおこない自由に参加出来ます。

日時：平成 25 年 3 月 19 日 (火)
時間：午後 2 時～午後 3 時
場所：磐井病院 5 階会議室
入場料：無料
お問い合わせ：磐井病院
代表 0191-23-3452
地域医療福祉連携室 吉田



音楽の絵本

NPO 法人一関文化会議所では、「音楽の絵本」と題し、クラシックコンサートを開催します。

金管五重奏のズーラシアンブラスと弦楽四重奏の弦うさぎ…。動物たちが織りなす不思議なクラシックコンサート「音楽の絵本」へようこそ！

日時：25 年 3 月 23 日 (土)
開場…13 時 15 分、開演…14 時
場所：一関文化センター大ホール
料金：大人 1000 円 こども 500 円
全席指定
電話：0191-21-2121



びっくりサイエンス SHOW

NPO 法人一関文化会議所では春休み企画として『春休み！チャーリー西村のびっくりサイエンス SHOW』を開催します。家族みんなで楽しめる SHOW となっております。

日時：平成 25 年 3 月 26 日 (火)
時間：開場 13 時/開演 13 時半
場所：一関文化センター中ホール
入場料：大人 1,000 円 (当日 1,300 円)
こども 500 円 (当日 600 円)
全席指定
お問い合わせ：一関文化センター
電話：0191-21-2121